

## Global and Innovation Gateway for All

## GIGA 通信

-児童生徒 1 人 1 台端末の日常的な活用に向けて-



発行元  
佐野市教育センター  
佐野市上羽田町 1134 番地 1  
電話 20-3108  
20-3048(相談専用)

今年度、佐野市教育センター学習指導調査研究委員会では、「主体的・対話的で深い学びを実現するための 1 人 1 台端末の活用について」を研究主題として、小・中・義務教育学校の 5 名の委員による調査研究が進められています。主体的・対話的で深い学びを実現するため、1 人 1 台端末をどのような場面で、どのように活用すると効果的か、委員の先生方が日々の授業において研究・実践してくださっています。

今回の GIGA 通信では、学習指導調査研究委員の一人でいらっしゃる城北小学校の先生の授業実践をご紹介します。

### 『授業の複数の場面で端末を効果的に活用して、ねらいに迫る授業展開に ～5年生国語での実践例～』(城北小)

5年生国語「季節の言葉3 秋の夕暮れ」における 1 人 1 台端末を活用した授業を参観させていただきました。児童が、秋を感じる言葉を探し、清少納言の「枕草子」を参考に、秋らしさを感じるものや様子を相手に伝わるよう、表現を工夫して文章に書き表していました。

先生は、本時の指導過程の複数の場面で端末を活用することで、児童の興味関心を高め、ねらいに迫る授業を展開されていました。

#### 【導入での活用】

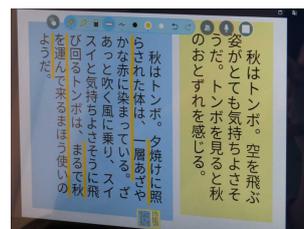
授業が始まるとすぐに、先生から児童に、ロイロノートで 2 問のクイズが配信されました。ある食べ物について表現された文章を読み、食べ物の名前を当てるクイズです。このクイズを通して、比喩やオノマトペを使って詳しく描写することで、食べ物の特徴やおいしさが読む人に伝わりやすくなることを児童に気付かせ、本時のねらい「秋のよさを詳しく伝えよう」を明確にしました。



#### 【展開での活用】

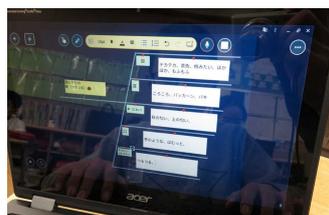
##### ①相手に伝わりやすい表現の工夫に気付く。

ロイロノートで提示された 2 つの文章。児童は良いと思う部分に線を引きながら、それらを比較して読むことで、導入で気付いた色や音、様子を表す言葉や比喩を使った表現の工夫について、改めて気付く、理解することができていました。



##### ②相手に分かりやすく伝えるために、どのように表現したらよいか考え、書くための材料を集める。

この場面では、ロイロノートの思考ツールを活用しました。児童は、自分が選んだ秋の言葉の表現を視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚、心情など様々な視点から考え、友達や先生に相談したり、友達の表現を参考にしたりしながら、熱心にメモしていました。



な視点から考え、友達や先生に相談したり、友達の表現を参考にしたりしながら、熱心にメモしていました。

##### ③集めた材料をもとに、文章を書く。

思考ツールに書いたメモをもとに、ノートに下書きを書きました。中には、①の学習過程で先生が配信した良い方の例文を思考ツールのページに貼り付け、それらを参考にしながら下書きする児童もいました。先生から得た情報を自分に合うようにカスタマイズして利用する。そんな、児童の一歩進んだ端末の活用場面を見ることができました。



①で配信された良い例文を自主的に貼り付け

思考ツールのメモを見ながら下書きを書く児童

先生から得た情報を自分に合うようにカスタマイズした児童も

